

コンパイラパッケージ M3T-CC32R ご使用上のお願い

M32Rファミリ用CコンパイラパッケージM3T-CC32Rの使用上の注意事項を連絡します。

- volatile修飾された配列の要素、構造体のメンバまたは共用体のメンバを 2回以上続けて読み出す場合の注意事項

1. 該当製品

M3T-CC32R V.1.00 Release 1 ~ V.3.20 Release 1

2. 内容

volatile修飾された配列の要素、構造体のメンバまたは共用体のメンバを、 2回以上続けて読み出すと、volatile修飾が無効になる場合があります。

また、volatile修飾に加えてconst修飾されている場合は、以下のメッセージが表示され、内部エラーが発生する場合があります。

cg32r: "xxxx", line XX: internal error: illegal IL, refer of tuse null.
(xxxx はファイル名。XX は行番号。)

2.1 発生条件

以下の条件をすべて満たす場合に問題が発生します。

- (1) 最適化オプション-O7,-O6,-O5 および-O4のいずれかを指定している。
または、-Ospaceまたは-Otimeを単独で指定している。
- (2) 以下のいずれかのオブジェクトを、2回以上続けて読み出している。
 - (a) 配列の要素
 - (b) 構造体のメンバ
 - (c) 共用体のメンバ
- (3) (2)の読み出しと読み出しの間に、以下のいずれの処理も存在し

ない。

(a) ポインタが指すメモリ空間への書き込み

(b) 関数呼び出し

(4) (2)のオブジェクトは、以下のいずれかの修飾がされている。

(a) const修飾およびvolatile修飾

(b) volatile修飾されているが、const修飾はされていない。

注意：

(4)(a)に該当する場合、内部エラーが発生します。

(4)(b)に該当する場合、volatile修飾が無効になります。

2.2 発生例

以下の例1および例3では、インターナルエラーが発生します。

例2では、volatile修飾が無効になります。

例1 --- インターナルエラーになる例

(ソースファイル sample1.c]

```
-----  
extern const volatile int array1[4]; /* 発生条件(2)(a)および(4)(a) */  
int a1, b1;
```

```
void func1(int index)
```

```
{  
    a1 = array1[index];          /* 発生条件(3) */  
    b1 = array1[index];          /* 発生条件(3) */  
}
```

例2 --- volatile修飾が無効になる例

(ソースファイル sample2.c]

```
-----  
extern volatile int array2[4]; /* 発生条件(2)(a)および(4)(b) */  
int a2, b2;
```

```
void func2(int index)
```

```
{  
    a2 = array2[index];          /* 発生条件(3) */  
    b2 = array2[index];          /* 発生条件(3) */  
}
```

例3 --- インターナルエラーになる例

(ソースファイル sample3.c]

```

-----
struct {
    const volatile int var;    /* 発生条件(2)(b)および(4)(a) */
} data3;

int func3(void)
{
    return (data3.var + data3.var); /* 発生条件(3) */
}
-----

```

3. 回避策

以下のいずれかの方法で回避できます。

- (1) コンパイラをV.4.00 Release 1 以降にバージョンアップする。
- (2) レベル4の最適化を抑止する。
 - O7,-O6,-O5および-O4のいずれかを指定している場合は-O3,-O2,-O1および -O0のいずれかに変更する。
 - Ospaceまたは-Otimeを指定している場合は、同時に-O3,-O2,-O1,および -O0のいずれかを指定する。
- (3) 発生条件(2)に該当する読み出しを、ポインタによる間接参照に変更する。

発生例1 の回避例

```

-----
extern const volatile int array1[4];
int a1, b1;

void func1(int index)
{
    const volatile int *ptr; /* array1[index] へのポインタを作成 */

    ptr = &array1[index]; /* array1[index] へのアドレスを設定 */
    a1 = *ptr;           /* ポインタ間接に変更 */
    b1 = *ptr;           /* ポインタ間接に変更 */
}
-----

```

発生例2 の回避例

```

-----
extern volatile int array2[4];
int a2, b2;

```

```
void func2(int index)
{
    volatile int *ptr; /* array2[index] へのポインタを作成 */

    ptr = &array2[index]; /* array2[index] へのアドレスを設定 */
    a2 = *ptr; /* ポインタ間接に変更 */
    b2 = *ptr; /* ポインタ間接に変更 */
}
```

発生例3の回避例

```
struct {
    const volatile int var;
} data3;

int func3(void)
{
    const volatile int *ptr; /* data3.var へのポインタを作成 */

    ptr = &data3.var; /* data3.var へのアドレスを設定 */
    return (*ptr + *ptr); /* ポインタ間接に変更 */
}
```

4. 恒久対策

本問題は、M3T-CC32R V.4.00以降で改修されています。

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。